

# 介護保険制度の経緯

- ・ 高齢化の進展に伴う、要介護者の増大、介護期間の長期化など介護ニーズの増大
- ・ 核家族化の進行、介護者の高齢化など家族をめぐる状況の変化
- \* 高齢者の社会を社会全体で支えあう介護保険の創設
  - 自立支援
  - 利用者主体
  - ケアの総合化

# 介護保険制度の施行状況

- ・介護保険制度利用の増大
- ・地域格差
- ・西高東低のサービス利用
- ・沖縄は過剰利用
- ・北関東は施設・在宅とも低利用
- ・青森は在宅利用のトップクラス
- ・秋田・岩手は施設依存傾向

# 今後の課題

介護予防の充実

在宅重視・自立支援

・在宅生活の継続、介護負担の軽減

・自己選択、自己決定

良質なサービスの確保

・情報公開

・利用者の選択に資するための介護情報提供

・介護支援専門員の質の向上

制度等の安定の確保

# 介護保険制度を利用するには

## 介護支援専門員の役割

- ・ 利用者、家族にとって、意味のあるプラン作り、サービス事業者の選定、調整、進行、管理などサービス利用者にとっては、こころ強い存在です。

では、どのように選定するのでしょうか？

# 介護保険制度利用手順

1. 相談する。
  - ・相談できる所を、日頃からみつけておくといい。
2. 申請する。
  - ・介護サービスをするためには、保険者(市区町村)に申請する。
3. 訪問調査を受ける。
  - ・主治医に意見書を作成してもらう。
  - ・日頃、病院に行っていない人でも医師の診察が必要になります。

#### 4. 審査・判定を受ける。

- ・本人に介護が必要かどうか、必要であればどの程度必要かを話し合いする会議です。

#### 5. 認定を受ける。

- ・市区町村から認定結果が通知されます。  
(郵送)

6. 介護サービスを選択する。

- ・要介護者本人や家族のために介護サービスを選択する。

7. 介護サービスプランの作成をする。

- ・介護支援専門員などと、話し合いをし、各種サービスを組み合わせた介護サービスプランを作成します。

8. 介護サービスの利用

- ・介護サービス計画に基づいて、サービスを利用する。

# 最後に

- ・ 介護保険の利用は権利です。

## ポイント

介護する人の健康管理やストレス発散をさせること  
家族で分担したり、同じように介護をしている家族との交流や保健福祉サービスの活用を検討する。

- ・ 割り切り上手に
- ・ 全力にならない
- ・ 借りる手は多く
- ・ 仲間を見つけ、悩みの共有
- ・ 時には役者に
- ・ 隠すよりオープンに
- ・ 自分を責めない